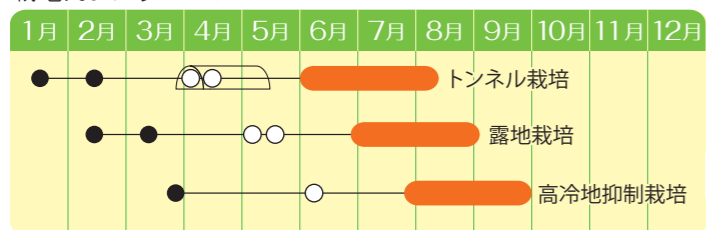


栽培カレンダー



「家の光」2014年4月号「家庭園芸」

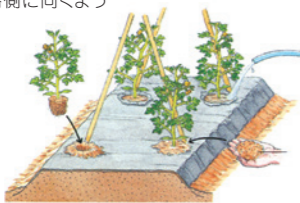


栽培のポイントは、わき芽を早めにかき取ることです。取り遅れると、主枝の育ちが劣り、葉が混み合って果実の肥大が悪くなってしまいます。また、実をたくさん採るには、花が咲いている時期に主枝を優しくたたいて振動させ、受粉を促すのが効果的です。

JA愛知西オリジナルキャラクター ~レキ~

5 植えつけ

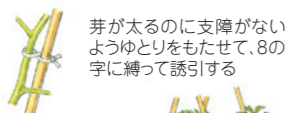
花房が通路側に向くように苗を置く



株のまわりに水が行きわたるよう、たっぷり灌水する

株のまわりの穴をふさぐように、フィルムにじゅうぶん土をかけ、温度上昇と乾燥防止を図る

6 誘引・芽かき



芽が太るのに支障がないようゆとりをもたせて、8の字に縛って誘引する



わき芽は小さいときに指先でかき取る。ウイルス病が汁液伝染するおそれがあるので、はさみは使わないこと

7 追肥・病虫害防除

(畝の長さ1m当たり) 油粕 大きじ3杯 化成肥料 大きじ2杯



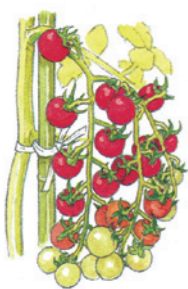
マルチフィルムをめくり、畝の片側ずつに

第1回 収穫始めの頃

第2回以降 着果・草勢をみながら、20~30日に1回くらい、第1回と同量を施す

疫病・アブラムシの早期発見に努め、薬剤散布する。葉の裏側にもよくかける

8 収穫



品種特性を理解したうえで、適期どりがたいせつ

花房の元のほうから順次着色する。完熟を待つて摘み取る



果数が多い品種は房どりで楽しむ

手軽に楽しめる定番野菜 ミニトマト

夏の家庭菜園では人気抜群。ミニトマトは新顔ながら、弁当の供などとして重宝されて急成長しました。大きさと形、色、食味など、バリエーションに富む、魅力的な新品种が続々と登場しています。味がよく、果形や色に特徴のある品種を選びましょう。

1 苗作り

ここがポイント 株間を広めにとり、光を当てて大きく育てる

購入苗の場合 小鉢の場合が多いので、鉢替えて再育苗する

自家製苗の場合 4号鉢に5~6粒まく

仕上がり苗 本葉8~9枚で1~2花開花

本葉2枚の頃 2本立てに

本葉4~5枚で 1本立てに

トンネルなどで保温する

良質の育苗用土を足す

2 元肥入れ

(1株当たり) 堆肥 3~4握り 油粕 大きじ4杯 化成肥料 大きじ2杯

畝の高さ 15~17cm 水はけの悪い畑、重たい土壌では思いきって高畝にする

90cm 180cm 20cm 30cm

3 ポリマルチ敷き

黒色ポリフィルム

地温の上昇を図るため、畝には黒色ポリフィルムをマルチする

植えつけ2~3日前には完成させる

4 支柱立て・植え穴掘り

植えてから畝を踏み固めたりしないよう、支柱は先に立てておく

テープはいちいち切らず、長く連結したほうがしっかり縛れる

斜めに筋交いを入れて補強する

必要に応じてフィルムを切り開く

45~50cm間隔で植え穴を掘る

◎収穫した野菜を産直広場で販売してみませんか?只今、産直会員募集中!お申し込みは、最寄りの産直広場へ!

推奨肥料の価格引き下げを実施

当JAは、農家所得の向上を目指す自己改革の一つとして、組合員の皆様からのご要望にお応えして、農業資材の価格引き下げに取り組みました。平成29年度は、組合員の皆様からの根強い人気商品である肥料「IB化成S1号」と「やさいの肥」を特別価格にてご提供いたしました。今後も、組合員の皆様の声にお応えして、目に見える自己改革に取り組みで参ります。



推奨肥料: IB化成S1号とやさいの肥



皆様の声にお応えすることができました!

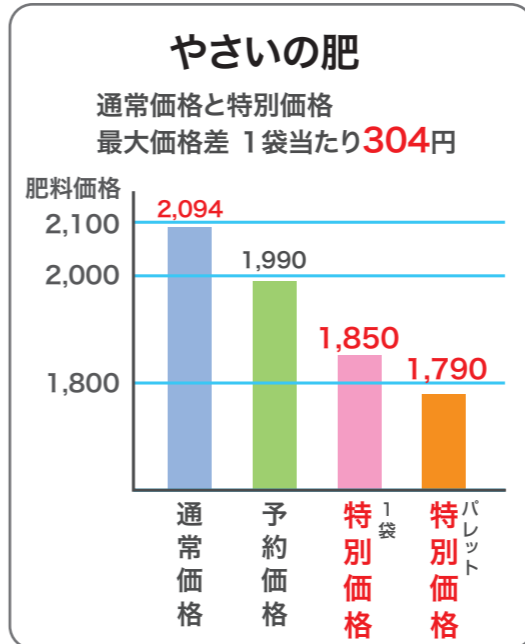
JA愛知西オリジナルキャラクター ~ケン~

価格の引き下げを実現するため、ご注文をいただく時期を指定させていただいたり、物流センターへ引き取りに来ていただいたりと、組合員の皆様にもご協力いただきました結果、価格を大きく引き下げることができました。

② 物流コストの削減 商品は配達ではなく、各物流センターにて引き渡しとさせていただきますことで、配送コスト分の価格を削減しました。また、職員による肥料の積み込み作業を軽減できるパレット単位(60袋)の価格を設定して、更なる価格の引き下げに取り組みました。

① 大量発注 価格引き下げのポイント

対象肥料のご注文を年2回にまとめて大量発注することで、仕入れ先に対して有利に価格交渉をいたしました。



※通常価格と予約価格は配送料込の価格で比較をしています。

